

時	指導事項 (学習過程)	めあて・課題	学習活動・流れ (授業の展開)	まとめ (ゴールの姿)	生徒から 引き出したい振り返り	教員の振り返り (授業後)
<p>単元で付きたい力                      文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに話や文章の構成、展開について理解を深めることができる力 [知識及び技能] (I)オ                      根拠の適切さを考えて、説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えながら描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する力 [思考力、判断力、表現力等] B(I)ウ                      言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする力 「学びに向かう力、人間性等」</p>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">★は補充の学習</div>						
1	B(1)ア 題材の設定 情報の収集 内容の検討	<p>〈めあて〉 短歌から想像力を広げて物語を書くためには、どのような工夫をすればよいか考えよう。 (課題) 短歌から物語のテーマを決め、具体的にどのようなことを伝えたいのか整理する。</p>	<p>【全体・個人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付きたい力、ゴール（目指す姿）、相手意識と目的意識の確認・共有。</li> <li>・単元の流れの確認。(教科書)</li> <li>・既習の確認※情報源や情報を得る方法</li> <li>・本時の目標と流れの確認。</li> <li>・短歌や物語のテーマ（伝えたいこと）を決める。スライド（他者参照）</li> <li>・本時の振り返り。</li> </ul> <p>★家庭学習として、高知県国語学習シート 63</p>	<p>短歌から物語を書くためには、言葉に着目してイメージを広げ、読み手に物語のテーマが伝わるよう情景や心情を表す表現を工夫し、その効果を考えながら、伝えたいことが伝わるようにする必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が選んだ短歌を読み手がいいなと思ってくれるように言葉にこだわって考え、物語を書きたいな。</li> <li>・1年生の時に学んだ表現技法を思い出したので、それを使って書いていきたい。</li> <li>・言葉一つをとっていろいろな解釈があって、自分が考えていたものと逆のイメージをつかむことができた。次の時間には一つの言葉から受けるたくさんのイメージを見つけていきたい。</li> </ul>	<p>既習の表現技法が定着していない。</p> <p>家庭学習として1年時の表現技法の確認プリントを活用する。</p> <p>語彙が乏しい生徒が多い。</p> <p>2時間目から、教科書の巻末やクラウド上に貯めてきた言葉のフォルダを活用させる。</p>
2 3	B(1)イ 構成の検討  B(1)ウ 考えの形成、 記述	<p>〈めあて〉 短歌から想像力を広げてテーマ（伝えたいこと）が伝わるように書くためには、どのような構成や表現の工夫をすればよいだろう。 (課題) 短歌から想像力を広げて、テーマ（伝えたいこと）が伝わるように表現の効果を考え、表現を工夫して物語を書く。</p>	<p>【個人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の流れを確認する。（4時間目に物語を共有できるようにするために家庭学習等も活用して仕上げる）</li> <li>・情報の収集、整理・分析、思考ツールを活用して構成メモの作成。</li> <li>※スライドに整理する。(他者参照)</li> <li>※思考ツールの種類は目的に合わせて各自で選択する。</li> <li>・ドキュメントで物語を作成する。(他者参照)</li> <li>・テーマ（伝えたいこと）が伝わっているか確認する。</li> </ul> <p>※自由に友達作品を参照し、参考にしたり、質問にいたりしてよいことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを書く。</li> </ul> <p>★(授業外の) 帯学習として、課題改善シート 27②⑧</p>	<p>短歌から想像力を広げて物語を書くためには、登場人物の心情や場面の様子などを効果的に伝えるために比喻などを使って表現したり情景描写を通して表現したりすることが必要である。また、言葉を吟味することも大切である。さらに、テーマ（伝えたいこと）を意識して物語の展開を組み立てることで、より伝えたい内容が強調される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌は三十一文字しかないけど、それぞれの言葉から連想できる事柄をイメージマップで広げることができた。ただ、伝えたいことを焦点化していくことが難しかった。友達の構成メモを見るとコンセプトマップを使ってまとめている人がいて、伝えたいことやあらすじなども分かりやすかったので、参考にしよう一度家でまとめ直したい。</li> <li>・短歌の中の二人の思いの違いを物語にしたいと思いました。そこで、二人の思いをそれぞれ物語にすることにしました。短歌には描かれていない相手の様子やその場面に至るまでの出来事を書くために、思考ツールのウェビングを使って想像を膨らませ、必要な情報をピックアップし、構成メモを書きました。次の時間は、構成メモに沿って、一年生で学習した教科書の物語を参考に物語を書こうと思います。</li> </ul>	<p>思考ツールの活用ができない生徒が多い。</p> <p>①活用できている生徒の紹介をして参考にさせる。</p> <p>②思考ツールの種類と活用について、予め確認しておく必要がある。(クラウド上に一覧を準備しておく)</p> <p>進度に差が見え始めたため、単元計画を再度確認させた。</p>
4	B(1)エ 推敲 B(1)オ 共有  主体的に学習に 取り組む態度	<p>〈めあて〉 読み手にテーマ（伝えたいこと）や思いを伝える文章にするためにはどんな工夫が必要だろう。 (課題) よりテーマ（伝えたいこと）が伝わる物語にするために友達の見解も参考に推敲する。</p>	<p>【全体・グループ・個人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の「めあて・課題」を確認する。</li> <li>・各自が作成した物語を読み合い、Google ドキュメントの提案モードでコメントを付ける。</li> <li>〈アドバイスの視点〉テーマ（伝えたいこと）が伝わる表現の工夫がされているか</li> <li>・自分の作成した物語で工夫した表現等について互いに説明し合う。</li> <li>・もらったコメントをもとに推敲する。</li> </ul> <p>※推敲は見え消しで行い、元は消えないようにする。</p> <p>※この時間に仕上げるができなかった場合は、次時に提出できるように、コメント等を参考に家庭学習で仕上げてくる。あわせて、伝えたいことを伝えるために工夫した表現とその効果についても提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを書く。</li> </ul> <p>★家庭学習として、課題改善プリント 33③⑤</p>	<p>読み手にテーマ（伝えたいこと）や思いを伝える文章にするためには、選んだ言葉や表現が描く情景や場面などで、どのような印象を与えるか、またその効果についても考える必要がある。様々な表現や語句を使うことでより読み手の想像力を膨らませることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した物語を読み直していると、最初のテーマとズレてしまっていると感じたので、構成メモをもとに物語の展開を組み替えた。また、登場人物の心情を間接的に表現するために情景を暗い色で表し、情景描写から登場人物の心情が読み取れるように工夫した。</li> <li>・二人それぞれの思いを物語に描きたかったので、一年生の教科書にあった「少年の日の思い出」を参考に書くことにしました。同じ短歌で物語を書いている友達は、作者の思いを中心に細かく描いていました。比喻を使ったり、伏線を意識したりいくつも工夫していて、読者を引き込むことができていたと思ったので、私も取り入れてみようと思いました。</li> </ul>	<p>テーマとのズレが見られる生徒がいたため、完成した生徒同士は作品を読み合い、気付きを共有することを助言した。</p> <p>あわせて、次時の共有後に修正した物語と伝えたいことを伝えるために工夫した表現とその効果をまとめたスライドを評価対象とすることを伝えた。</p>
5	知識及び技能 (I)オ  思考力・判断力・表現力等 B(I)ウ	<p>(課題) 単元で学んだこと「伝えたいことを伝える工夫」を今後の学習や生活にどのように生かしていくことができるかまとめる。</p>	<p>【個人】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元で付きたい力を確認する。</li> <li>・再考した物語を提出する。(ドキュメント)</li> <li>・評価問題を行う。(全国調査の問題を活用)</li> <li>・単元の振り返りを書く。</li> </ul>	<p>伝えたいことを伝えるための工夫とは、まず伝えたいことを明確にし、相手や場面に合わせて表現の効果を考えながら言葉を吟味し、選択することである。</p>	<p>この単元を通して、物語を書いたことで単に伝えたいことを書いたり、表現技法を取り入れただけでは伝えたいことが上手く伝わらないということを感じました。表現の効果を考えながら言葉を選ぶことや言葉の吟味はもちろん、語順や前後の言葉と言葉とのつながりなども考える必要があったと分かりました。これからは、何を伝えたいのか、誰に伝えたいのかを明確にしたうえで、語句や表現の働きを意識し、最も効果的な言葉を選んで文章を書こうと思いました。また、小説などを読む際には、作者の言葉の使い方や表現、またそれが作品に与える印象や効果なども考えながら読み味わいたいと思います。</p>	<p>次の単元で文学的文章の初読の際に、表現に着目し、どの表現にどのような効果があるかをまとめさせるようにする。</p>

単元ゴールの姿: 既習の短歌から創造力を広げ、描写や表現を工夫して、これまでに読んだことのある物語の構成や展開を参考に物語を書くことができる。短歌から情景や心情を想像し、登場人物や場面、状況等を設定する。そのうえで展開を考えて伝えたいことを明確にするために、語順や語の照応によって表現がどのように変わってくるかを理解して書いている。また、使われている言葉に着目するなどして読書を行い、日常の中で自分の考えや思いを伝える際に生かそうとしている。